

NISSHIN

建設技術審査証明(建築技術)報告書 縮刷版

環境配慮型改質アスファルト複合防水工法

アスリード工法

環境配慮型常温積層アスファルト防水工法

クリンアス工法

環境配慮型常温アスファルト防水工法

クリンアスNEO工法

環境配慮型アスファルト防水工法

ピロウエルド新熱工法

環境配慮型改質アスファルト防水工法

シェーン密着工法

環境配慮型改質アスファルト防水工法

アスオーブ工法

環境配慮型常温積層アスファルト防水工法

プレストシステム

環境配慮型ウレタン塗膜防水工法(補強布不要)

カイザーコート工法

日新工業株式会社

この工法は、高い塗膜性能を有する低煙・低臭タイプの加熱型改質アスファルト塗膜防水材「アスリードコート」と高い抗張積を有する高機能改質アスファルトルーフィング「アスリードルーフ」の組み合わせにより、従来よりも施工が省力化された環境配慮型改質アスファルト複合防水工法です。

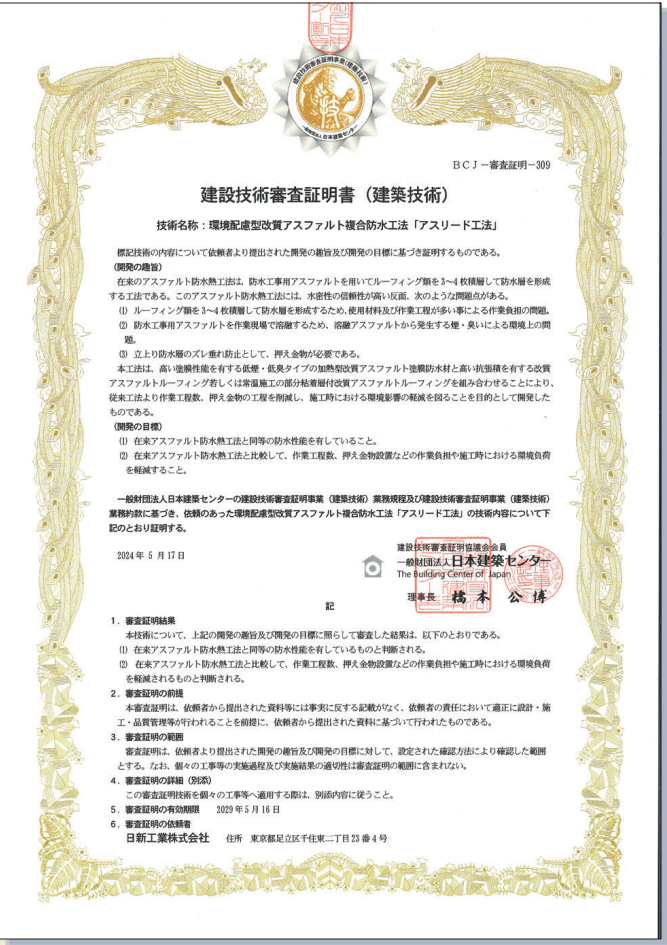
審査証明事項

① 在来のアスファルト防水熱工法と同等の性能を有する。

仕 様	性能評価
FAL-1	A-1、A-2、A-3、B-1、B-2 と同等
FALI-1	AI-1、AI-2、AI-3、BI-1、BI-2 と同等
SAL-2、SAL-3	D-1、D-2 と同等
SALI-2、SALI-3、SALM-2、SALM-3	DI-1、DI-2 と同等
SALR-3	C-1、C-2、C-3、C-4 と同等
RAL-100	E-1、E-2 と同等

② 既存アスファルト防水熱工法と比較して、作業負担や環境負荷の低減が図れる。

- 在来のアスファルト熱工法に比べて、1～5工程少なく、作業員数及び作業日数は20～80%程度削減されている。
- 工事用アスファルトの使用量が15～70%程度少なく、溶解に要する燃料及び発生する二酸化炭素の量も同程度に削減されている。
- アスリードコートは、一般的なアスファルトに比べ、低い温度で熔融できるため発煙量も大幅に少ない。



クリンアス工法

有効期限: 2027年7月26日 迄

この工法は、湿気硬化型の常温改質アスファルト系防水材「クリンアス」により、従来の火気を使用するアスファルト防水工法よりも環境への負荷となる煙や二酸化炭素の排出量を低減する観点から発展・改良された完全常温型の積層アスファルト防水工法です。

審査証明事項

① 在来のアスファルト防水熱工法と同等の性能を有する。

仕様	性能評価
FC-1	A-1、A-2、A-3、B-1、B-2、B-3 と同等
FCI-1	AI-1、AI-2、AI-3、BI-1、BI-2、BI-3 と同等
SC-1	D-1、D-2、C-1、C-2 と同等
SCI-1、SCM-1	DI-1、DI-2 と同等
RC-200	E-1、E-2 と同等

② 火気を使用しないことにより、施工時における燃料消費・二酸化炭素の発生及び臭気・煙の発生がないことで、作業環境・近隣環境の改善が図れる。

③ 既存アスファルト防水と比較して、作業工程数の削減及び施工の簡素化により作業効率が向上する。

● 在来のアスファルト熱工法に比べ、1～4工程少なく、作業員数及び作業日数は40～70%程度削減されている。また、防水層の重量も保護(断熱)工法で41～63%、露出防水工法で46～58%低減されている。



クリンアスNEO工法

有効期限: 2026年9月13日 迄

この工法は、湿気硬化型の常温改質アスファルト系防水材「クリンアスNEO」により、従来の火気を使用するアスファルト防水工法よりも環境への負荷となる煙や二酸化炭素の排出量を低減する観点から発展・改良された完全常温型のアスファルト防水工法です。

審査証明事項

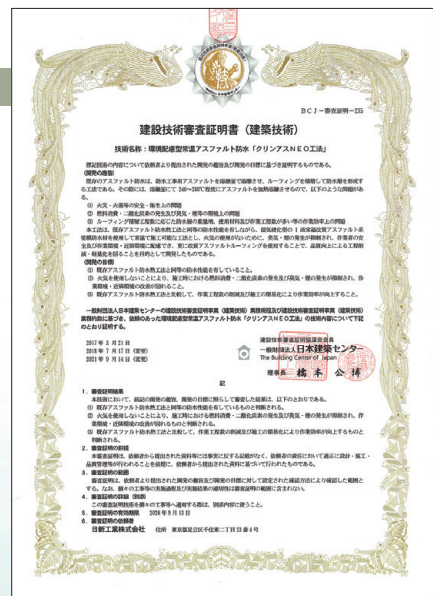
① 在来のアスファルト防水熱工法と同等の性能を有する。

仕様	性能評価
FCN-1	A-1、A-2 と同等
FCNI-1	AI-1、AI-2 と同等
RCN-100	E-1、E-2 と同等

② 火気を使用しないことにより、施工時における燃料消費・二酸化炭素の発生及び臭気・煙の発生がないことで、作業環境・近隣環境の改善が図れる。

③ 既存アスファルト防水と比較して、作業工程数の削減及び施工の簡素化により作業効率が向上する。

● 在来のアスファルト熱工法に比べ、3～6工程少なく、作業員数及び作業日数は58～75%程度削減されている。また、防水層の重量も9～73%程度低減されている。



ピロウエルド新熱工法

有効期限: 2027年3月20日迄

この工法は“ピロウエルドE”と低臭・低煙タイプの防水工事用アスファルト“シグマートEL”等※を採用し、在来のアスファルト防水よりも環境への配慮、施工性の向上、経済性の観点から発展・改良された環境配慮型アスファルト防水工法です。

※「シグマートE」「シグマートS」も使用可能

審査証明事項

- ① 在来のアスファルト防水熱工法と同等の性能を有する。
 - ② アスファルトの使用量を削減し、作業・周辺環境に対する影響を軽減する。
 - ③ 在来工法によるアスファルト防水層の重量を軽減すること、作業工程数の削減及び施工の簡素化により作業効率が向上する。
- 工事用アスファルトの使用量が29～54%少なく、溶解に要する燃料及び発生する二酸化炭素の量も同程度に削減されている。
 - シグマート類は、一般的なアスファルトに比べ、低い温度で溶解できるため発煙量も大幅に少ない。
 - 在来のアスファルト熱工法に比べ、1～4工程少なく、また防水層の重量も保護(断熱)工法で40～62%、露出防水工法で45～65%低減されている。

仕様	性能評価
FP-2、FP-3	A-1、B-1と同等
FPI-2、FPI-3	AI-1、BI-1と同等
SP-1	D-2と同等
SP-2	D-1、C-1、C-2と同等
SPI-1、SPM-1	DI-2と同等
SPI-2、SPM-2	DI-1と同等



シェーン密着工法

有効期限: 2026年7月11日迄

この工法は、低煙・低臭タイプの防水工事用アスファルト“シグマートEL”等※を採用し、在来のアスファルト防水よりも環境への配慮、施工性の向上、経済性の観点から発展・改良された環境配慮型改質アスファルト防水工法です。

※「シグマートE」「シグマートS」も使用可能

審査証明事項

- ① 在来のアスファルト防水熱工法と同等の性能を有する。
 - ② 既存アスファルト防水熱工法と比較して、作業負担や環境負荷の軽減が図れる。
- 既存アスファルト熱工法に比べて、2～3工程少なく、施工が簡易化され作業負担も軽減されている。
 - 工事用アスファルトの使用量が22～55%少なく、溶解に要する燃料及び発生する二酸化炭素の量も同程度に削減されている。

仕様	性能評価
FM-2、FM-4	A-1、A-2と同等
FMI-2、FMI-4	AI-1、AI-2と同等



この工法は、アスファルト溶融釜を使用せず、下層ルーフィング表面を専用工具と併用して炙り、溶け出した易溶融性改質アスファルトを防水材兼接着剤として使用する環境配慮型改質アスファルト防水工法です。

審査証明事項

① 在来のアスファルト防水熱工法と同等の性能を有する。

仕 様	性能評価
FO-1	A-1、A-2、B-1、B-2 と同等
FOI-1	AI-1、AI-2、BI-1、BI-2 と同等
SO-1	D-1、D-2 と同等
SOI-1、SOM-1	DI-1、DI-2 と同等
RO-100	E-1、E-2 と同等

② 既存アスファルト防水熱工法と比較して、作業負担や環境負荷の低減が図れる。

- 在来のアスファルト熱工法に比べて、2～5工程少なく、流し張り作業に必要な作業員数が少なくても施工が可能で、作業負担も軽減されている。



BCJ-審査証明-282

建設技術審査証明書（建築技術）

技術名称：環境配慮型改質アスファルト防水工法「アスオーブ工法」

標記技術の名称について依頼者より提出された開発の趣旨及び開発の目標に基づき証明するものである。

（開発の趣旨）
 既存アスファルト防水熱工法は、防水工事用アスファルトを溶融釜で240～280℃程度に溶融させ、ルーフィング層を3～4枚積層して防水層を形成する工法である。このアスファルト防水熱工法には、水密性の信頼性が低い反面、次のような問題点がある。

① ルーフィング層を3～4枚積層して防水層を形成するため、使用材料及び作業工程が多い事による作業効率上の問題。
 ② 防水工事用アスファルトを作業現場で溶融するため、溶融釜からの発生する煙・臭い等の環境上の問題。
 本工法は、バーナーを用いて施工する工法のため、溶融釜の荷搬・運搬・移動及び防水工事用アスファルトの溶融待ち時間などの作業負担がなく、更に煙・臭い・二酸化炭素の発生量が少なく、既存アスファルト防水熱工法と同等の防水性能を有する工法である。

（開発の目標）
 ① 既存アスファルト防水熱工法と同等の防水性能を有していること。
 ② 既存アスファルト防水熱工法と比較して、作業負担や環境負荷の軽減が図れること。

一般財団法人日本建築センターの建設技術審査証明事業（建築技術）業務規程及び建設技術審査証明事業（建築技術）業務方針に基づき、依頼のあった環境配慮型改質アスファルト防水工法「アスオーブ工法」の技術内容について下記のとおり証明する。

2020年5月21日
 2021年7月12日（変更）

建設技術審査証明協議会
 一般財団法人日本建築センター
 The Building Center of Japan

理事長 橋本 公博

記

- 審査証明結果**
 本技術において、前記の開発の趣旨、開発の目標に照らして審査した結果は、以下のとおりである。
 ① 既存アスファルト防水熱工法と同等の防水性能を有するものと判断される。
 ② 既存アスファルト防水熱工法と比較して、作業負担や環境負荷の軽減が図れると判断される。
- 審査証明の前提**
 本審査証明は、依頼者から提出された資料等には事実と反する記載がなく、依頼者の責任において適正に設計・製造時の検査・施工・維持管理等が行われたことを前提に、依頼者から提出された資料に基づいて行われたものである。
- 審査証明の範囲**
 本審査証明は、依頼者より提出された開発の趣旨及び開発の目標に対して、設定された確認方法により確認した範囲とする。なお、個々の工事等の実施過程及び実施結果の適切性は審査証明の範囲に含まれない。
- 審査証明の期限（有効）**
 この審査証明技術書を個々の工事等へ適用する際は、別段内容に従うこと。
- 審査証明の有効期限** 2026年7月11日
- 審査証明の依頼者**
 日新工業株式会社 住所 東京都足立区千住東二丁目23番4号

この工法は、湿気硬化型の常温改質アスファルト系防水材「プレストコート」により、従来の火気を使用するアスファルト防水工法よりも環境への負荷となる煙や二酸化炭素の排出量を低減する観点から発展・開発された完全常温型の積層アスファルト防水工法です。

審査証明事項

① 在来のアスファルト防水熱工法と同等の性能を有する。

仕 様	性能評価
PN-13	A-1、A-2、A-3、 B-1、B-2、B-3 と同等
PN-14	AI-1、AI-2、AI-3、 BI-1、BI-2、BI-3 と同等
PN-11、PR-12、PR-13	D-1、D-2、C-1、C-2 と同等
PN-12、PN-12V、PR-14	DI-1、DI-2 と同等
PN-56	E-1、E-2 と同等

② 火気を使用しないことにより、施工時における燃料消費・二酸化炭素の発生及び臭気・煙の発生がないことで、作業環境・近隣環境の改善が図れる。

③ 既存アスファルト防水と比較して、作業工程数の削減及び施工の簡素化により作業効率が向上する。

● 在来のアスファルト熱工法に比べ、1～4工程少なく、作業員数及び作業日数は40～70%程度削減されている。
また、防水層の重量も保護(断熱)工法で41～63%、露出防水工法で46～58%低減されている。



カイザーコート工法

有効期限: 2030年5月30日迄

この工法は、JIS A 6021:2022 ウレタンゴム系建築用塗膜防水材料の高伸長形・高強度形の両区分に適合した特定化学物質障害予防規則に非該当の環境配慮型ウレタン防水材料「カイザーコート」を用いて、補強布を不要としたウレタンゴム系塗膜防水工法です。

防水仕様として、カイザーコート類のみを使用する「両区分適合塗膜防水材料仕様」と高伸長形塗膜防水材料を併用した「高伸長形塗膜防水材料複合仕様」があります。

防水仕様	仕様記号		使用材料
	平場	立上り	
両区分適合塗膜防水材料仕様	KF-30 KRF-30	KF-20V KRF-20V	カイザーコート、カイザーコートV
高伸長形塗膜防水材料複合仕様	KCS-30	KCS-20V	1層目: セピロンコートQ、QV 2層目: カイザーコート、カイザーコートV
	KCR-30	KCR-20V	1層目: リファージュコートプラス、プラスV 2層目: カイザーコート、カイザーコートV

審査証明事項

① 「X-2仕様」及び「L-UFS仕様」に適合する工法と同等の防水性能を有する。

仕 様		性能評価
平 場	KF-30、KRF-30 KCS-30、KCR-30	公共建築工事標準仕様書 X-2仕様 公共建築改修工事標準仕様書 X-2仕様 建築工事標準仕様書JASS8 防水工事 L-UFS仕様と同様
立上り	KF-20V、KRF-20V KCS-20V、KCR-20V	

② 「X-2仕様」及び「L-UFS仕様」に適合する工法より工程数が減ること、作業員数の削減や作業日数の短縮による施工の省力化が図れる。





- 当カタログのデータは全て性能値であり保証値ではありません。
- 材料、仕様は予告なく変更する場合があります。

防水のことがわかるニッシン・オフィシャルサイト <https://www.nisshinkogyo.co.jp/>



総合防水材料メーカー

日新工業株式会社

0120-86-2424

■ 本社／営業統括部 〒120-0025 東京都足立区千住東2-23-4TEL. (03)3882-2571
■ 関 東 TEL.(03)3882-2641 ■ 九 州 TEL.(092)451-1095 ■ 広 島 TEL.(082)541-5033
■ 大 阪 TEL.(06)6263-7711 ■ 札 幌 TEL.(011)215-1034 ■ 工 場 埼 玉 ・ 山 形
■ 名 古 屋 TEL.(052)933-4761 ■ 仙 台 TEL.(022)393-7209